

スリーエフ

“99円”コンビニのシステムを新規開発

スリーエフは新規展開するコンビニエンス・ストア「q's mart」用のシステムを稼働させ、店舗の本格展開を始めた。q's martは調理用の生鮮食品や日用品を中心に約4000アイテムを揃え、99円、199円、299円などの価格帯で販売する。従来型のコンビニ店舗とは扱う商品の種類や点数、価格、取引方法などが異なるため、既存店舗向けのシステムとは別のシステムを構築した。

新たに開発したシステムは6種類。店舗で利用する会計、受発注、在庫管理、検品のシステムと、スリーエフ本部で利用する商品物流、統合会計のシ

ステムである。従来型店舗より粗利が少ないため、システム投資を従来型店舗向けの3分の1に抑えることが課題だった。そこで店舗系システム、本部のシステムともに、プラットフォームをRed Hat Linuxを搭載したIAサーバーと、米ケースメーカー製の低価格なデータベース管理システム「DBMaster」に統一。アプリケーションは中国でオフショア開発した。店舗のPOSレジも、故障を減らしてメンテナンス費用を抑えるために、ハードディスクなど駆動部品を搭載しない端末を独自開発した。 (岡本)